



奈良県感染症情報

令和6年 第24週(6月10日～6月16日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

**手足口病
警報発令中!**

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	8.85	(8.09)	↑	↑	↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	5.41	(5.74)	→	→	↗	↗
3	A群溶連菌咽頭炎	4.03	(4.12)	→	→	→	↑
4	新型コロナウイルス感染症	3.49	(3.51)	→	→	↗	→
5	RSウイルス感染症	0.79	(1.50)	↓	↓	↓	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

手足口病の定点当たり報告数は8.85で前週の8.09からさらに増加しており、警報発令中です。奈良県内すべての地域で流行が見られ、特に吉野保健所管内地域においては、過去5週間平均数と比べて急増しています。感染経路は、飛沫感染、接触感染及び糞口感染であり、この病気がかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活している保育施設や幼稚園などでは特に注意が必要です。おむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、流水と石けんでしっかり手を洗いましょう。

A群溶連菌咽頭炎の定点当たり報告数は4.03と、まだ多い状況が続いています。通常、接触を介して伝播するため、患者との濃厚な接触を避け、手洗いやうがいを心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

手足口病はピークを超えてきている感じがする。溶連菌感染症の症例数に変化はない。

発熱と咳が長引くウイルス性と思われる気管支炎が多くなっており、CRPなどの炎症反応が強くなり、抗菌剤投与する例が増えている。中には気管支肺炎となり紹介入院となる例がある。

典型的なヘルパンギーナはなかった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザは見られなくなった。COVID-19はごくまれに見られる程度となった。

乳幼児で咳嗽の例があるがRS陽性例はなかった。

ヘルパンギーナ、アデノ例は減少。手足口病も減少傾向。A群溶血性連鎖球菌が持続している。

感染性腸炎は嘔吐少なく下痢のみの例が主となってきた。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

手足口病の流行が続いている。ヘルパンギーナも増加している。

アデノウイルス感染症は散見されるのみだが、溶連菌陽性例は多い。

嘔吐頻回で下痢、熱のあまりないウイルス性胃腸炎が急増している。

COVID-19陽性例は増加せず横ばいが続いている。

遷延する呼吸器感染ではパラインフルエンザ3型ウイルス陽性例が多く、肺炎合併、入院加療を必要とする場合もみられる。

ヒトメタニューモウイルスや肺炎球菌陽性例もみられる。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 6 年 第 24 週 6 月 10 日 ~ 6 月 16 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ	55 (0.25)	14 (0.64)	14 (0.07)	11 (0.09)	10 (0.30)		6
新型コロナウイルス感染症	192 (3.49)	24 (1.71)	42 (3.00)	43 (3.91)	55 (5.50)	28 (4.67)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	27 (0.79)	7 (0.78)	6 (0.67)	9 (1.29)	5 (0.83)		
咽頭結膜熱	22 (0.65)	4 (0.44)	5 (0.56)	2 (0.29)	10 (1.67)	1 (0.33)	
A群溶連菌咽頭炎	137 (4.03)	25 (2.78)	31 (3.44)	22 (3.14)	51 (8.50)	8 (2.67)	
感染性胃腸炎	184 (5.41)	32 (3.56)	42 (4.67)	42 (6.00)	58 (9.67)	10 (3.33)	
水痘	2 (0.06)		2 (0.22)				
手足口病	301 (8.85)	51 (5.67)	75 (8.33)	64 (9.14)	89 (14.83)	22 (7.33)	
伝染性紅斑							
突発性発しん	19 (0.56)	6 (0.67)	1 (0.11)	8 (1.14)	3 (0.50)	1 (0.33)	
ヘルパンギーナ	22 (0.65)	4 (0.44)	6 (0.67)	1 (0.14)	9 (1.50)	2 (0.67)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)				1 (0.17)		
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	13 (1.30)	6 (2.00)	1 (0.33)	5 (2.50)	1 (0.50)		
基幹定点数	6	7	2	7	7	7	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市3)
3類感染症	
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1件(吉野1)
5類感染症	ウイルス性肝炎1件(中和1) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1件(中和1) 水痘(入院例)1件(奈良市1) 梅毒2件(奈良市2)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	1	新型コロナウイルス感染症	30
---------	---	--------------	----

❖ 第24週のトピックス ❖

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の発生について(奈良県疾病対策課HP)
https://www.pref.nara.jp/item/309706.htm#itemid309706

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			1	1		1	1					2	1				1	1		1	9	6305
	女									1													5
新型コロナウイルス感染症	男	1		2	2	1						1	5	5	11	11	9	13	7	10	9	87	3861
	女	2	1	1	2	1					1		1	10	9	13	11	12	15	14	12	105	4464
RSウイルス感染症	男	1	3	7	3	1		1	1				1									18	727
	女		3	2	4					1												9	705
咽頭結膜熱	男		3	4	4	1	3						1									17	325
	女			3	1			1														5	278
A群溶連菌咽頭炎	男		1	1	8	16	8	8	8	7	4	8	8	1	1							79	1304
	女			3	3	3	6	7	10	3	8	4	9	2								58	1039
感染性胃腸炎	男		3	13	10	11	9	8	5	7	10	4	14	1	3							98	2402
	女	1	5	11	14	6	12	10	8	3	6	3	1	2	4							86	2072
水痘	男											2										2	37
	女																						27
手足口病	男	1	20	51	25	19	21	13	3	3	1		1									158	846
	女		13	55	31	15	12	9	4	1	1	1	1									143	709
伝染性紅斑	男																						1
	女																						1
突発性発しん	男		2	5	1																	8	103
	女		3	5	2				1													11	102
ヘルパンギーナ	男		2	4	5	1	1				1											14	42
	女		1	1		2		2	1				1									8	47
流行性耳下腺炎	男					1																1	11
	女																						7
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男			1	1				1											2		6	78
	女				2	1						1				2	1					7	78
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男																						7
	女																						2
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

